

令和7年度大阪880万人訓練 訓練参加登録詳細（地元自治体・自主防災組織）【11月5日（水）10時現在】

グループ名	参加予定人数	訓練内容、メッセージなど
磯路自主防災組織（イソップ）	25人	無線訓練を実施します
磯路自主防災組織（イソップ）	25人	無線訓練を実施 本部を地域の会館に置き、各町会からの現状報告と役所からの情報の伝達訓練をします
高津町自治会自主防災組織	7人	避難経路の危険場所を確認しながら行います
東五百住さつき自主防災会	200人	地震発生時は、身を守る行動をとることを伝える。揺れがおさまったら行動。家を離れて避難する時はブレーカーを必ず落としてから避難することを伝える。隣挨拶を交わし、顔見知りをたくさん作ることの大切さを伝える。(安心に繋がる)
高塚台二丁目自治会自主防災会	25人	
津々山台3丁目B自治会自主防災会	150人	アラートに合わせて情報収集・伝達訓練を行います。アラートにより地震が発生したと想定し、黄色いハンカチ作戦を実行。自主防災会の各班長が担当する各班で黄色いハンカチの掲示（無事）を確認し、非掲示の戸には個別確認を行い、災害本部（自主防災会会长）に報告を行います。
大阪府吹田市山田小川自治会自主防災組織	43人	各自治会員に対して防災の意識確認、備蓄品の再確認、家族の連絡網と避難場所の確認伝達。
岸和田市太田町町会	89人	当日 町会lineを用いて安否確認を行う
泉大津市自主防災組織連絡協議会	30人	津波避難訓練、避難場所受付訓練。津波浸水地域の学校、生徒達の一時避難場所への、円滑な移動、連携し、お手伝いします。避難所、受付の精度や迅速化へ、ITの活用、テストします。
三国地区防災会	3人	翌週に実施する地域の防災訓練により良い訓練にするために、この日は正しい簡易トイレ使用体験訓練を行うため、役員での準備訓練に充てます。
北助松第二次住宅自主防災会	150人	防災会の会員＝自治会会員の150世帯を対象に、「災害への備え」に向けた確認チェックを各家庭で実施する。①「わが家の地震対策チェック」②「災害への備えチェックシート」による点検を行います。
河内長野市民生委員児童委員協議会	145人	880万人訓練に連動して、河内長野市民児協で定めている「発災時の連絡体制」に基づき、市内民生委員の安否や地域の被害状況などの確認訓練を行う。
加美連合町会災害救助部	14人	私たち災害救助部は、震度5弱以上の地震で災害対策本部への自動参集を決めています。今回の大阪880万人訓練機会を利用し、部員全員が大津波警報の緊急速報メールやエリアメール受信時に、模擬的に災害対策本部参集をグループライン上でやり取りする初動訓練を行ないます。
柏原市民生・児童委員協議会	133人	地域ICTプラットフォームサービス「結ネット（ゆいねっと）」を活用し民生・児童委員の安否確認訓練を実施します。
さつき丘自治会4-16A	8人	枚方市による安否確認手順を確認する
泉州透析施設連絡会	30人	発災後の各透析施設の被災状況をGoogleのMyMapsおよびスプレッドシートへ被災想定を入力する訓練を行う。得た情報を全施設で共有し、地域での共助で対応可能か、公的な支援（水・電気）が必要か、または広域搬送支援要請が必要かを共有ツール上で意見交換する。
夕陽丘セントポリア管理組合	198人	わがマンションでは、訓練合図に合わせて「身を守る行動」「安否確認」「館内点検」を行います。
大阪市東住吉区介護保険関係者連絡会	288人	BCPの訓練として区を挙げて加盟事業所が参加します
大阪市東住吉区訪問介護連絡会「楽護」	150人	BCPの一環で区全体の訪問介護連絡会で訓練を行います

令和7年度大阪880万人訓練 訓練参加登録詳細（地元自治体・自主防災組織）【11月5日（水）10時現在】

Team 7043 (全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体)	30人	Team7043(全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体 社団局JF3YYE)では、訓練合図にあわせてアマチュア無線の周波数(439.34MHz FM JR3WAレピータ & 145.500MHz FM 非常通信周波数 & 439.11MHz FM JR3VKレピータ & 短波帯7.123MHz+-SSB) を使って大阪府内局&近隣県局&日本国内局と交信を試みます。尚、JR3WA 439.34MHz FM レピータは東大阪市役所の屋上に設置されていて大阪府内全域をカバーしています。またWebロールコール（ハッシュタグ#情報、#報告、#支援、#要請）を使いSNSを利用して電文伝達訓練をも行います。
箕面青松園自治会自主防災委員会	80人	自治会の自主防災LINEで安否確認を行います。